

国立小児病院跡地の有効活用対話型サウンディング調査結果（概要）

1. 調査名

国立小児病院跡地の有効活用に向けた対話型サウンディング調査

2. 調査対象地

国立小児病院跡地

（住所：二宮町山西240番5ほか）

3. 実施経緯

| 日程 | 内容 |
|-----------------------------------|---------------------|
| 平成29年11月13日(月) | 対話型サウンディング実施の公表 |
| 平成29年11月15日(水) ～平成29年11月29日(水) | 現地説明会参加申し込み受付 |
| 平成29年11月30日(木) | 現地説明会の実施 |
| 平成29年11月30日(木) ～平成29年12月27日(水) | 対話型サウンディング実施の申し込み受付 |
| 平成30年1月15日(月) | 対話型サウンディングの実施 |
| 平成30年3月 | 実施結果の概要公表 |

4. 参加状況

現地説明会参加：2団体

対話型サウンディング参加：1団体

5. ヒアリング内容

別紙1の通り

6. 実施結果

(1) 総括

・福祉施設関連の可能性は町の支援なしでも可能性があるが、子育て支援機能は町の支援なしでは難しい。

(2) 対象地のポテンシャル、事業アイデアに関して

・海により商圈が半分となるので、商業ベースの事業は厳しい。
・サービス付高齢者住宅関連の事業者が一社興味を持っている。
・分譲住宅は可能だと思うが、道路などで土地面積が少なくなり利益が減少する可能性がある。

(3) 子育て支援機能について

・子育て支援機能単独の施設は難しい。
・子育て支援機能とするのなら、障がい者関連施設と組合せていくのであれば可能性があるかもしれない。

(4) 事業方式について

・借地の場合は、事業者と町で直接契約になると想定している。
・福祉（入居）系だと借地で30年間が基本となる。

7. 今後の対応

国立小児病院跡地に関しては、今回の調査結果を踏まえ、地域住民にとっても望ましく、また事業としても成立すると想定される活用方法について、引き続き検討を行ってまいります。

ヒアリング内容

| | 対象地のポテンシャル、事業アイデア に関して | 子育て支援機能について | 事業方式について |
|-----|---|--|---|
| A 社 | <ul style="list-style-type: none"> ・海により商圈が半分となるので、商業ベースの事業は厳しい。 ・サービス付高齢者住宅関連の事業者が一社興味を持っている。 ・分譲住宅は可能だと思うが、道路などで土地面積が少なくなり利益が減少する可能性がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援機能単独の施設は難しい。 ・子育て支援機能とするのなら、障がい者関連施設と組合せていくのであれば可能性があるかもしれない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・借地の場合は、事業者と町で直接契約になると想定している。 ・福祉（入居）系だと借地で30年間が基本となる。 |